



## 学校再開にあたり ～気づき 考え 行動する～

5月半ばより週2回の分散登校が行われ、皆さんと久しぶりに学校で会うことができました。友だちや先生と話す様子や授業を受けている姿を見ながら、うれしくほっとした気持ちになりました。



今日からは、学校の本格再開に向けたスタートアップ期間です。通常通りの8時15分始業で、4時間授業になります。8日からは給食も始まります。15日からの本格再開に向けて少しずつ、心と体を元に戻していきましょう。そして、学校生活などで、心配や不安なことがありましたら、担任の先生や学年の先生に声をかけて相談してください。

また、感染拡大を予防するための3つの基本(①身体的距離の確保②マスクの着用③手洗い・うがい)を引き続き行ない、一人一人が今できる予防を心がけましょう。

さて、学校再開にあたり、皆さんにご紹介したいことがあります。

昨年の10月に日本赤十字社の方にお話しを聞く機会がありました。日本赤十字社は、(1)健康・安全(2)奉仕(3)国際理解・親善に取り組んでいる団体です。平成23年3月11日に東日本大震災が起こり、東北の沿岸部をはじめ多くの地域で甚大な被害が出ました。自然災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。そんな中で被災地に援助に向かう方々がたくさんおられました。日本赤十字社もその中の一つです。お話の中で、青少年赤十字活動の態度目標を教えてくださいました。

それは、「気づき 考え 行動する」です。

- 気づき…何気なく生活していると気づかなかったことでも、自分が注意深い生活を心がけると自分の身の回りで起きていることや困っている人の声に気付くことがあります。
- 考え…起きていることがなぜ起きているのか、困っている人がなぜ困っているのか。相手の身になって考えることにより本当に必要なことが何であるのかわかってくる。
- 行動する…「何とかしたい」「誰かがやってくれる」ではなく自分が実行する。

この休業期間中、皆さんの生活記録を読んでいて、このことを思い出しました。少し紹介します。

### (気づいた事)

- ・いつもの日々はやっぱり大切なのだなあと改めて気付いた。
- ・家族も自粛で辛い思いをしていることに気付いた。
- ・クラブやクラスで、先輩や友だちという時の楽しさや大切さに気付いた。
- ・学校に行って勉強ができること、友だちと会えること、部活動を全力でできることいろんなこと、いろんな当たり前だったことが当たり前ではなく、本当はとてもありがたいことだということに気付きました。

### (考えたこと)

- ・もっと友だちを大切にしようと思いました。
- ・普段からもっと家事を手伝おうと思いました。
- ・時間を大切に、新しい学年に進みたいと思いました。
- ・中学校の内容にしっかりついていけるように教科書をよく読む。

皆さん、たくさんの大切なことに気づき、今後の自分の行動を考え直したことがわかります。そして、それらをこれから「行動する」のは…自分です。

これまで経験したことのない今のこの状況の中でも、皆さんの文章に力を感じます。どんなことからでも構いません。目標を立て、それに向かってともにがんばっていきましょう。

(学校長 織田容子)



すくすく成長する校内農園の作物 (トウモロコシ↑ 枝豆↓)





## 6月1日からの予定 ※授業日となり、出席日数に入ります。

※時間割につきましては別紙にて連絡済みです。

### ① 6月1日(月)～6月5日(金) 分散登校 給食なし

・8:15 登校。4時間授業。

1年生	【月曜日・木曜日】…吉見地区
2年生	【火曜日・金曜日】…嘉祥寺・りんくう地区
3年生	【月曜日・木曜日】…吉見地区
	【火曜日・金曜日】…嘉祥寺・りんくう地区
	【水曜日】…全員登校(地区ごとに分かれて学習)

### ② 6月8日(月)～6月12日(金) 分散登校 給食開始

・8:15 登校。4時間授業。

1年生	【月曜日・木曜日】…吉見地区
2年生	【火曜日・金曜日】…嘉祥寺・りんくう地区
3年生	【月曜日・木曜日】…吉見地区
	【火曜日・金曜日】…嘉祥寺・りんくう地区
	【水曜日】…全員登校(地区ごとに分かれて学習)

### ③ 6月15日(月)より 一斉登校 (本格再開・給食あり)

・通常授業(6時間)・8:15 登校。

#### 【今後の主な予定】

6月15日(月)	1学期始業式(放送形式)
6月30日(火)	心臓検診1次(1年生, 2, 3年抽出)
7月15日(水)	期末テスト(～17日(金))
8月3日(月)	期末懇談会(～6日(木))
8月7日(金)	1学期 終業式
8月12日(水)	学校閉庁日(～16日(日))
8月17日(月)	2学期始業式
8月25日(火)	3年生第1回学力診断テスト(1日目)
8月26日(水)	3年生第1回学力診断テスト(2日目)

※変更の可能性もあります。その際は随時お知らせいたします。

#### 水泳授業の中止について

今年度、2か月遅れての学校再開ということで、内科検診、眼科検診、耳鼻科検診等の保健行事が延期となりました。よって、体育科の水泳の授業は、実施が困難と判断し中止いたします。

## より求められる対話力・磨くべき感性

人間に長所と短所があるように、物事には必ず二面性があります。

例えば、原子力。発電に利用すれば非常に効率的に電力が得られ、原料であるウランは一度使用してもなお、プルトニウムとしてほぼ繰り返し使えます。一方、ウランの核分裂は原子爆弾として利用され、さまざまな爆撃と放射線によって、過去には大量の人命を奪い、生き残った者にも多大な苦痛を与え続けました。日本人なら世界の誰よりも実感している事です。特に放射線においては、2011年の東日本大震災で、原発事故による大量の放射線汚染被害によって多くの人が故郷を離れて今も暮らしています。それに、原子力発電によって排出される放射性廃棄物は、処分方法がいまだに定まらず、貯蔵施設で一時保管されるものの、増え続ける一方です。

このように、物事には必ず利点と欠点があります。携帯電話、オンラインゲーム、SNS、自動車…、一見、便利な面しか思い浮かばない物であっても、使い方によっては、うまくコミュニケーションが取れない、依存症に陥る、体力が低下する、大きな事故につながる、などの落とし穴があります。今回は、学校の本格的な再開を目前にして、今一度、考えてみたいことがあります。それは、人としての対話力・感性を磨くことの大切さです。

新型コロナウイルスによる感染症拡大をうけて、その防止徹底のため、世の中の生活スタイルは大きく変化・発展を遂げました。密にかかわる状態を避けるため、人と人の距離感には細心の注意が払われました。2011年の自然災害では「絆」が叫ばれ、人と人との「つながり」が再認識されたことを考えると、まさに正反対の対応を迫られることになりました。

…現在のところ、人々はそれを見事にクリアしました。特に、テレワークに代表される、ICT機器を駆使してのコミュニケーション手段は、予想を超える進化を遂げました。オンラインによる仕事、会議、TV放送。教育現場では授業動画の配信やビデオ通話アプリによる双方向のやりとり。個々が異なる場所においても、一斉授業さながらの展開ができることで、密閉・密集・密接をさけて活動できることが証明されました。この技術を開発・普及させた方々に心から敬意を表します。

しかしながら、一方で懸念もあります。伝える手段は急速に発展したものの、伝える側は十分に伝えたいことを伝えられていますか。簡単な手段に甘え、伝えたいという熱意は込められていますか。…反対に、伝えたい思いだけが先走って、一度に大量のメッセージを送信し、

相手を困らせてしまったり…、という人はいないでしょうか。

また、受け取る側はいかがでしょうか。送手手の思い・気持ち・熱意を感じ取る力は、これまで以上に必要になってくるのではないのでしょうか。人は本来、直接対話を通してこそ、お互いの感情を読み取ることができます。相手の声・目・表情・身ぶり・手振りなどから、何を伝えようとしているかを感じとります。同じ「おはよう」でも、元気いっばいのあいさつなのか、浮かない気持ちでとりあえずあいさつただけなのか…。場面はさまざまです。

相手の気持ちを読み取ったなら、それにふさわしい言葉を使って自分の気持ちを伝えます。しかしながら、伝える手段が、声だけ、文字だけ、映像だけ、など限られたものになれば、本当に伝えたい事が伝わるでしょうか？伝えたい熱意を感じ取る事ができるでしょうか。



つまり、時代の変化とともに、技術の進化とともに、私たちは自身の感性も同時に磨き続ける必要があります。たしかに「オンライン」技術は感染拡大予防に大きな役割を果たしています。しかし、直接対話の機会が失われることは、それ以外の方法で、これまで以上に感情を「伝える力」、そして「感じ取る力」を磨かなければなりません。

進化した技術の二面性を見極め、それに応じた対応が、人間には求められているのです。この休業期間、人と会うことを制限されたことで、あらためて人と通じ合う対話力の大切さ、人の気持ちを読み取る感性の必要性を考えさせられたのではないのでしょうか。

(こども支援コーディネーター 横井武志)